

目指す主な成果の定義

政策目標	目指す主な成果	目指す主な成果の定義	備考
意欲と能力ある経営体の育成	農業生産基盤の整備地区において意欲と能力のある経営体への農地の利用集積率を事業実施前より20ポイント以上向上させる	担い手への利用集積を条件とする農用地の整備において、計画期間内における事業完了地区の全農地に対して、そのうち意欲と能力のある経営体に利用集積されている農地の割合 ※意欲と能力のある経営体：認定農業者の他、経営等農用地面積3ha以上の経営体など	
総合的な食料供給基盤の強化 (農用地の確保と有効利用)	基盤整備の実施により水稲と畑作物の選択的作付が可能となった農地における耕地利用率を105%以上に向上させる	区画整理、暗渠排水等の整備による水田の汎用化を実施し、計画期間内に水稲と畑作物の選択的作付が可能となった農地における平均耕地利用率	
循環型社会の構築に向けた取組	家畜排せつ物のたい肥化等による年間処理量 計画期間内に約280万トンの増加	家畜排せつ物処理施設の整備に伴い、新たにたい肥やエネルギーとして循環利用した家畜排せつ物の量(畜産環境総合整備事業により増加した利用量)	
	農業集落排水汚泥のリサイクル率 45%(H14)→55%(H19)	農業集落排水施設の供用に伴う汚泥発生量に対するたい肥等へのリサイクル量の割合	
自然と農業生産が調和した豊かな田園自然環境の創造	田園自然環境の創造に着手した地域 約500地域(H14)→約1,700地域(H19)	農村地域の環境保全に関する基本計画である「田園環境整備マスタープラン」に位置付けられた環境創造地域において、水路やため池、農道などの整備の際に生きものの生息環境や地域の人々が自然と親しむ空間を創出するなど、「田園自然環境の創造」の取り組みに着手する地域数(旧村単位)	
個性ある美しいむらづくり	汚水処理人口普及率 74%(H13)→86%(H19) 農業集落排水処理人口普及率 39%(H14)→52%(H19)	汚水処理人口普及率：総人口に対する、下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の汚水処理施設を利用できる人口の割合 農業集落排水処理人口普及率：汚水処理施設の整備に関する都道府県の構想における農業集落排水施設の整備対象人口に対する、農業集落排水施設を利用できる人口の割合	
安定的な用水供給機能等の確保	基幹的農業用排水施設の長寿命化やライフサイクルコストの低減を図りつつ、施設が有する延べ約250万haの農地に対する安定的な用水供給機能及び排水条件の確保を図る	基幹水利施設(水路約4.5万km等)が支える170万haに対する用水供給機能及び80万haに対する排水条件を確保	
農業災害の防止と安全・安心な地域社会の形成への貢献	湛水被害等が発生するおそれのある農用地の延べ面積 約100万ha(H14)→約76万ha(H19)	全国の農用地のうち、各時点において湛水や地すべり等による被害の発生のおそれがある農用地の延べ面積	